

水産物の持続的利用への3月6日宣言（「3.6宣言」）

（一社）マリン・エコラベル・ジャパン協議会（MEL）は2016年12月に旧組織を改組して発足以来、その使命の一つである国際標準化に向けて準備を進めている。同時に、「日本の水産業の新たな発展に資する水産エコラベル」をつくることを目指している。

この度、MELの認証機関である（公社）日本水産資源保護協会が、新規格によるMEL認証の第一陣となる5団体・企業の7件の「認証証書授与式」を三会堂ビル会議室で2019年3月6日に執り行った。

この機会に、MEL協議会と認証された5団体・企業

- ◆ 漁業認証（MEL Ver.2.0）
 - ・北海道漁連（秋さけ定置網漁業および流通加工）
- ◆ 養殖認証（MEL Ver.1.0）
 - ・東町漁協（ぶり小割生簀養殖及び流通加工）
 - ・（株）ヨンキュウ（まだい種苗陸上養殖）
- ◆ 流通加工認証（MEL Ver.2.0）
 - ・中央魚類（株）
 - ・ぎょれん総合食品(株)

は、日本の水産物の持続的利用のフロントランナーとして、水産エコラベルの普及推進と社会への定着を通して、SDGsの目標実現への貢献と日本の水産業を輝かせることに協働して取り組むことに賛同し、ここに宣言する。

なお、MELと5団体・企業は、協働のための組織「3.6宣言ネットワーク（仮称）」に参加し、それぞれの分野におけるリーダーとして水産物の持続的利用を促進するとともに世界に発信する。その活動の内容は「MELニュース」等を通して、社会、会員、認証を受けた皆様等と共有する。

2019年3月6日

北海道漁業協同組合連合会

代表理事会長 川崎 一好

東町漁業協同組合

代表理事組合長 長元 信男

株式会社ヨンキュウ

代表取締役社長 笠岡 恒三

中央魚類株式会社

代表取締役社長 大滝 義彦

ぎょれん総合食品株式会社

代表取締役社長 三好 敏博

一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会

代表理事会長 垣添 直也

以上